

平成22年2月期 第1四半期決算短信

平成21年6月22日

上場取引所 東

上場会社名 アークランドサカモト株式会社

コード番号 9842 URL <http://www.arcland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 坂本 洋司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 堀川 優人

TEL 0256-33-6000

四半期報告書提出予定日 平成21年7月3日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第1四半期の連結業績(平成21年2月21日～平成21年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第1四半期	22,495	—	1,524	—	1,636	—	833	—
21年2月期第1四半期	23,001	△7.4	1,463	12.3	1,563	17.7	782	16.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第1四半期	41.09	—
21年2月期第1四半期	38.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第1四半期	67,938	31,956	45.7	1,530.80
21年2月期	67,947	31,289	44.8	1,499.43

(参考) 自己資本 22年2月期第1四半期 31,045百万円 21年2月期 30,409百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年2月21日～平成22年2月20日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	46,450	—	2,820	—	2,850	—	1,430	—	70.51
通期	90,000	0.3	5,000	4.3	5,000	3.4	2,500	197.8	123.27

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他 (3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年2月期第1四半期 20,690,843株 21年2月期 20,690,843株

② 期末自己株式数 22年2月期第1四半期 410,143株 21年2月期 409,776株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年2月期第1四半期 20,280,859株 21年2月期第1四半期 20,281,644株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(2)当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成21年2月21日から平成21年5月20日まで）におけるわが国経済は、景気後退に伴い企業収益が落ち込み、雇用・所得環境の大幅な悪化により個人消費は一段と低迷する厳しい状況が続くこととなりました。

このような環境下、当社グループの第1四半期の売上高は224億95百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は15億24百万円（前年同期比4.2%増）、経常利益は16億36百万円（前年同期比4.7%増）、四半期純利益は8億33百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

巨大店舗がリードするホームセンター部門の売上高は165億13百万円（前年同期比2.4%減）となりました。昨年6月にオープンしたホームセンタームサシ名取店が寄与したものの、昨年12月に閉店したホームセンタームサシ新津店の減収およびホームセンター既存店売上高が4.6%減となったことによります。

その他小売部門の売上高は13億84百万円（前年同期比4.9%増）となりました。フードデポ新潟店が好調に推移したことによります。

その結果、小売事業の売上高は178億97百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

<卸売事業>

全国のホームセンター既存店売上高は低迷することとなりました。加えて取引先を選別したこともあって、卸売事業の売上高は20億19百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

<外食事業>

外食事業は、主力のとんかつ専門店「かつや」の直営店が前年同期末比6店舗増加したことにより、売上高は20億25百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

<不動産事業>

不動産事業の売上高は5億53百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

※定性的情報における前年同期比較に関する情報は、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

1) 連結財政状態の概況

(総資産)

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比較して9百万円減少し、679億38百万円となりました。現金及び預金等の流動資産が増加したものの、減価償却等により固定資産が減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比較して6億76百万円減少し、359億81百万円となりました。買掛債務が増加したものの、有利子負債が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比較して6億66百万円増加し、319億56百万円となりました。これは当四半期純利益により、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比較して5億92百万円増加し、24億20百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、30億71百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益15億9百万円、仕入債務の増加額19億52百万円、法人税等の支払額5億91百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、3億65百万円となりました。これは主に敷金・保証金の返還による収入5億35百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、28億44百万円となりました。これは主に短期借入金の純減額13億60百万円、長期借入金の返済による支出12億23百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの第1四半期業績は、売上高は計画をやや下回ったものの、営業利益、経常利益については、粗利率の改善、経費削減を行ったことにより減益を見込んだ計画を上回り、それぞれ増益となりました。他方で、所得環境は厳しい状況が継続し、夏のボーナスも減少が見込まれ個人消費動向はかなりの下方圧力がかかるものと考えられます。

従いまして、第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、前回公表(平成21年4月3日)いたしました業績予想数値に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。これにより、従来の方法によった場合に比べて営業利益及び経常利益はそれぞれ20百万円減少し税金等調整前四半期純利益は1億42百万円減少しております。

③ リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理方法によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を当第1四半期連結会計期間から適用し、リース取引開始日が当連結会計年度後であるリース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が当連結会計年度開始日前であるリース取引については、引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理によっております。

この変更による損益に与える影響はありません。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び連結子会社の機械装置の耐用年数については、当第1四半期連結会計期間より、平成20年度の法人税法の改正を契機として見直しを行い、改正後の法人税法に基づく耐用年数に変更しております。

これに伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,423	1,830
受取手形及び売掛金	2,633	2,206
商品	11,375	11,549
その他	2,376	2,233
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	18,804	17,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,101	28,440
土地	7,860	7,860
その他(純額)	1,367	1,463
有形固定資産合計	37,329	37,764
無形固定資産		
のれん	51	57
その他	2,183	2,197
無形固定資産合計	2,234	2,254
投資その他の資産		
投資有価証券	608	572
敷金及び保証金	5,633	6,127
その他	3,706	3,791
貸倒引当金	△378	△379
投資その他の資産合計	9,569	10,111
固定資産合計	49,133	50,131
資産合計	67,938	67,947
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,303	9,350
短期借入金	7,700	9,060
1年内返済予定の長期借入金	4,292	4,822
未払法人税等	655	628
賞与引当金	379	180
ポイント引当金	15	14
その他	3,263	3,472
流動負債合計	27,610	27,528
固定負債		
長期借入金	3,573	4,267
退職給付引当金	660	642
役員退職慰労引当金	427	461
長期預り保証金	3,668	3,713
その他	41	44
固定負債合計	8,371	9,129
負債合計	35,981	36,658

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	6,603	6,603
利益剰余金	18,599	17,968
自己株式	△637	△637
株主資本合計	31,028	30,397
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17	11
評価・換算差額等合計	17	11
少数株主持分	910	879
純資産合計	31,956	31,289
負債純資産合計	67,938	67,947

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年5月20日)
売上高	22,495
売上原価	15,223
売上総利益	7,272
販売費及び一般管理費	5,747
営業利益	1,524
営業外収益	
受取利息	8
持分法による投資利益	27
その他	105
営業外収益合計	140
営業外費用	
支払利息	26
その他	2
営業外費用合計	29
経常利益	1,636
特別利益	
その他	4
特別利益合計	4
特別損失	
商品評価損	122
その他	8
特別損失合計	131
税金等調整前四半期純利益	1,509
法人税、住民税及び事業税	633
法人税等調整額	△2
法人税等合計	630
少数株主利益	45
四半期純利益	833

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成21年2月21日
至 平成21年5月20日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,509
減価償却費	645
のれん償却額	6
受取利息及び受取配当金	△8
支払利息	26
売上債権の増減額 (△は増加)	△426
たな卸資産の増減額 (△は増加)	177
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,952
その他	△198
小計	3,684
利息及び配当金の受取額	2
利息の支払額	△23
法人税等の支払額	△591
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,071
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△123
無形固定資産の取得による支出	△17
敷金及び保証金の差入による支出	△43
敷金及び保証金の回収による収入	535
その他	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	365
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,360
長期借入金の返済による支出	△1,223
配当金の支払額	△202
少数株主への配当金の支払額	△14
その他	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,844
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	592
現金及び現金同等物の期首残高	1,827
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,420

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(平成21年2月21日～平成21年5月20日)

区分	小売事業 (百万円)	卸売事業 (百万円)	外食事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	17,897	2,019	2,025	553	22,495	—	22,495
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,200	—	269	3,470	△3,470	—
計	17,897	5,219	2,025	822	25,966	△3,470	22,495
営業利益	870	232	234	182	1,519	4	1,524

(注) 1. 事業区分は事業内容を勘案して、下記のとおり区分しております。

小売事業……………DIY関連用品、園芸用品、ペット用品等のホームセンター、スーパーセンター及びアート&クラフト専門店、食品専門館での店頭販売

卸売事業……………DIY用品等を全国及び当社グループのホームセンターへ販売

外食事業……………とんかつ専門店「かつや」を主力とした飲食店の経営

不動産事業……………不動産賃貸業

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間において、海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成20年2月21日～平成20年5月20日)

科目	前年同四半期 (平成21年2月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	23,001
II 売上原価	15,778
売上総利益	7,223
III 販売費及び一般管理費	5,759
営業利益	1,463
IV 営業外収益	144
受取利息	7
持分法による投資利益	33
その他	102
V 営業外費用	43
支払利息	35
その他	8
経常利益	1,563
VI 特別利益	27
その他	27
VII 特別損失	186
その他	186
税金等調整前四半期純利益	1,404
法人税、住民税及び事業税	457
法人税等調整額	124
少数株主利益	39
四半期純利益	782

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間 (平成20年2月21日～平成20年5月20日)

	前年同四半期 (平成21年2月期 第1四半期)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,404
減価償却費	629
のれん償却額	6
受取利息及び受取配当金	△ 7
支払利息	35
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 487
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 1,382
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,952
その他	44
小計	3,194
利息及び配当金の受取額	1
利息の支払額	△33
法人税等の支払額	△851
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,311
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 417
無形固定資産の取得による支出	△ 18
敷金及び保証金の差入による支出	△ 577
敷金及び保証金の回収による収入	108
その他	△ 1,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,984
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,200
長期借入金の返済による支出	△ 1,417
配当金の支払額	△ 202
少数株主への配当金の支払額	△ 16
その他	212
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 224
IV 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	102
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,227
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,329

6. その他の情報

事業・部門・品目別販売実績

(単位：百万円、%)

	前年同四半期 平成21年2月期 第1四半期		当四半期 平成22年2月期 第1四半期		増 減		(参考) 平成21年2月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
卸売事業	2,394	10.4	2,019	9.0	△ 374	△ 15.7	8,878	9.9
小売事業	18,235	79.3	17,897	79.6	△ 338	△ 1.9	70,770	78.9
ホームセンター部門	16,916	73.5	16,513	73.4	△ 403	△ 2.4	65,155	72.6
D I Y関連用品	4,256	18.5	4,073	18.1	△ 183	△ 4.3	16,494	18.4
家庭用品	5,224	22.7	5,138	22.8	△ 85	△ 1.6	23,092	25.7
カー・レジャー用品	2,187	9.5	2,047	9.1	△ 139	△ 6.4	7,670	8.5
園芸用品	5,211	22.7	5,160	23.0	△ 51	△ 1.0	17,491	19.5
その他	36	0.1	93	0.4	56	155.4	406	0.5
その他小売部門	1,319	5.8	1,384	6.2	64	4.9	5,614	6.3
外食事業	1,867	8.1	2,025	8.9	158	8.5	7,997	8.8
不動産事業	504	2.2	553	2.5	48	9.6	2,126	2.4
連結売上高	23,001	100.0	22,495	100.0	△ 505	△ 2.2	89,773	100.0